



保健だより



こころの健康づくりシンポジウム

～地域のつながり・支え合いで、
こころの健康づくりを～

メンタルヘルスという言葉をよく耳にするようになりました。今や心の病気などで命を絶つ人は全国で年間3万人以上に及んでいます。心の病気はだれにでもかかり得る、身近な病気なのです。

心の病気にかかった人が地域で共に安心して暮らせる社会を築いていくためには、私たち一人ひとりが病気について正しく理解することが重要です。大切な命を守っていくために地域や職場で何ができるか一緒に考えてみませんか。

日時 11月17日(木)

13:00～15:30 (受付開始 12:00～)

場所 二戸市民文化会館 中ホール

内容

〈基調講演〉13:00～14:15

「身近な人がうつ病になったら」

講師 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
認知行動療法センター長 大野 裕 氏

〈パネルディスカッション〉14:30～15:30

テーマ

「“地域のつながり・地域の支えあい”で
こころの健康づくりに取り組む」

コーディネーター：県立一戸病院副院長(精神科医)
小井田 潤一 氏

助言者：認知行動療法センター長 大野 裕 氏

パネリスト：県立大学看護学部准教授 工藤 朋子 氏
民生委員 矢野 勝二 氏

傾聴ボランティア 高橋 公子 氏

問い合わせ先 健康推進課 ☎ 23-1313 (内線 264)
浄法寺総合支所 ☎ 38-2211 (内線 130)

53杯目 こみゅにTeaたいむ

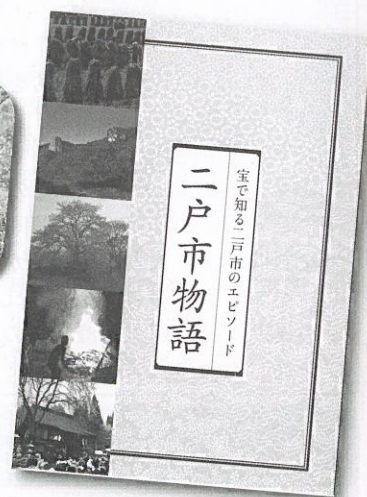
「二戸市物語」販売中

市は、自分たちの暮らしているまちの自然や文化、産業など地域資源である「宝」を掘り起こし、地域振興につなげようと、市民総参加による「宝を生かしたまちづくり」を進めてきました。その代表的な宝についてのエピソードをまとめ「二戸市物語」として、平成14年に初版本を発行いたしました。

「宝を生かしたまちづくり」は、事業開始から今年で20年を迎えます。そこで20周年を記念し、浄法寺地区の宝のエピソードを加えた、新たな「二戸市物語」を発刊しました。

二戸の「宝」は、10月21日から3日間の日程で行われた、全国エコツーリズム大会 in 岩手にのへでも、全国各地から参加した皆さんに高く評価されました。この本を通して、先人の努力によって守られてきた「宝」を知り、次の世代に伝えていきましょう。

「二戸市物語」は次の場所で販売中です。



【販売場所】

- (1) 二戸市役所地域振興課
- (2) 浄法寺総合支所市民課
- (3) 中央公民館
- (4) 石切所公民館
- (5) 金田一コミュニティセンター
- (6) 浄法寺カシオペアセンター
- (7) 二戸市シビックセンター

【販売価格】 1冊 500円

この欄の問い合わせは、市地域振興課(内線382)まで